

PRTR 法調査表 IASO 記入要領(令和*年度取扱量調査)

1. 年間取扱量

令和*年度に、容器(再生を含む)から取り出して使用した量。

IASO の使用量履歴から抽出します。

化学物質管理支援システム(IASO R7)で「取扱量(使用量)」を求める方法

1. ログイン画面→[DATA MANAGER]→[PRTR リスト]を選択
2. [リスト種別]で排出/移動量を選択
3. [集計期間] を****年 04 月 01 日～ ****年 03 月 31 日に変更
4. [PRTR 種別]で第一種指定化学物質を選択
5. [保管場所]をクリックし出てきたウインドウで研究室の保管場所をすべて選ぶ。→ 決定
6. [リスト]ボタンをクリック→排出/移動量を出てきたウインドウ上で確認、あるいは、リストをダウンロード後、エクセルで個別集計も可能。
7. 配布のエクセルファイルの年間取扱量に合計量を記入する。

使用していない化学物質は、行を削除して、提出する。

※ 化合物の重量については、濃度などから算出して計上すること。

2. 大気への排出

排出量 = 排出量として、これまで本調査で、とくに申し出のない場合に用いてきた揮発率を用いて算出した値を示しています。この値とは異なると思われる場合は、揮発率を書き換え、理由があれば、右端欄に記入して下さい。

理由の例： 実験終了時に毎回、廃液量を測定している。 実験操作、取扱い方法から。排ガス濃度を測定して。 ○○装置による排ガス処理を行っている。

3. 下水道(移動)、河川等

排出先 = 河川、湖沼、海域等の場合は、その名称

4. 自己処理等

「反応」、「分解」、「燃焼」等により、研究室内で調査対象化学物質が消滅した場合

5. 廃液量

年間取扱量から、上記 2、3、4 の排出量や移動量を差し引いた値が自動計算されます。

6. 地区 No.

1. 馬出・病院、
2. 伊都、
3. 大橋、
4. 筑紫、
5. 別府、
6. その他

7. 研究室等整理番号

化学物質管理のために研究室等に割り振られた整理番号です。化学物質支援管理システム(IASO R7)へのログインの際に Group ID として用います。廃液や廃薬品等の処理依頼、作業環境測定、リスク調査等でも使用します。この整理番号は改組等により変更されることがあります。この研究室等整理番号が不明の場合は、部局担当係まで問い合わせして下さい。